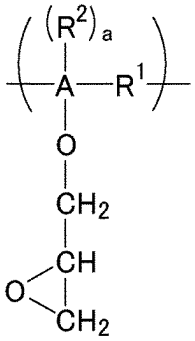
【公報種別】特許法第１７条の２の規定による補正の掲載
【部門区分】第３部門第３区分
【発行日】令和6年9月3日(2024.9.3)

【国際公開番号】WO2023/120355
【出願番号】特願2023-569364(P2023-569364)
【国際特許分類】
C08G 59/14(2006.01)
G03F 7/004(2006.01)
G03F 7/038(2006.01)
G03F 7/027(2006.01)
G02B 5/20(2006.01)
【FI】
C08G 59/14
G03F 7/004501
G03F 7/038501
G03F 7/038503
G03F 7/027515
G02B 5/20 101

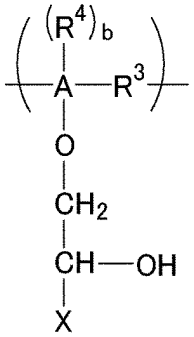
【手続補正書】
【提出日】令和6年5月30日(2024.5.30)
【手続補正１】
【補正対象書類名】特許請求の範囲
【補正対象項目名】全文
【補正方法】変更
【補正の内容】
【特許請求の範囲】
【請求項１】
酸基と重合性不飽和二重結合を有し、エポキシ当量が５０００ｇ／当量以下であるアルカリ可溶性樹脂であって、
該アルカリ可溶性樹脂は、下記式（１）で表される構成単位、下記式（２）で表される構成単位、及び、下記式（３）で表される構成単位を有するアルカリ可溶性樹脂。
【化１】



(1)

（式中、Ａは、ベンゼン環又はナフタレン環を表す。Ｒ^{1}は、炭素数１～２０の２価の炭化水素基を表す。Ｒ^{2}は、Ａに結合する置換基を表し、水酸基、又は、炭素数１～２０の有機基を表す。ａは、Ｒ^{2}の個数を表し、０～５の整数である。Ｒ^{2}が２個以上ある場合、それぞれ互いに同一であっても、異なっていてもよい。）

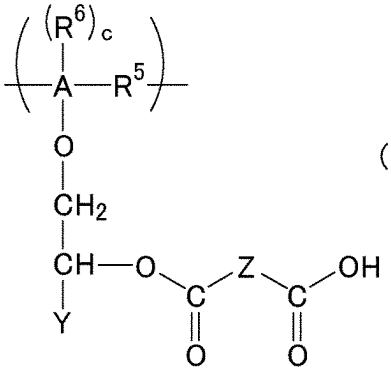
【化２】



(2)

（式中、Ａは、ベンゼン環又はナフタレン環を表す。Ｒ^{3}は、炭素数１～２０の２価の炭化水素基を表す。Ｒ^{4}は、Ａに結合する置換基を表し、水酸基、又は、炭素数１～２０の有機基を表す。ｂは、Ｒ^{4}の個数を表し、０～５の整数である。Ｒ^{4}が２個以上ある場合、それぞれ互いに同一であっても、異なっていてもよい。Ｘは、有機基を表す。）

【化３】



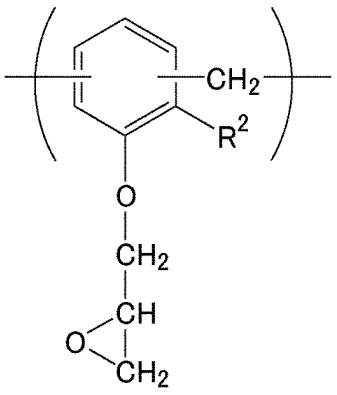
(3)

（式中、Ａは、ベンゼン環又はナフタレン環を表す。Ｒ^{5}は、炭素数１～２０の２価の炭化水素基を表す。Ｒ^{6}は、Ａに結合する置換基を表し、水酸基、又は、炭素数１～２０の有機基を表す。ｃは、Ｒ^{6}の個数を表し、０～５の整数である。Ｒ^{6}が２個以上ある場合、それぞれ互いに同一であっても、異なっていてもよい。Ｙは、有機基を表す。Ｚは、２価の有機基を表す。）

【請求項２】

前記式（１）で表される構成単位は、下記式（１－１）で表される構成単位であり、
前記式（２）で表される構成単位は、下記式（２－１）で表される構成単位であり、
前記式（３）で表される構成単位は、下記式（３－１）で表される構成単位である、請求項１に記載のアルカリ可溶性樹脂。

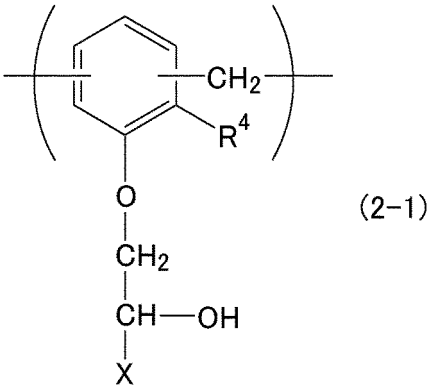
【化４】



(1-1)

（式中、R^2は、水素原子又は炭素数１～６のアルキル基を表す。）

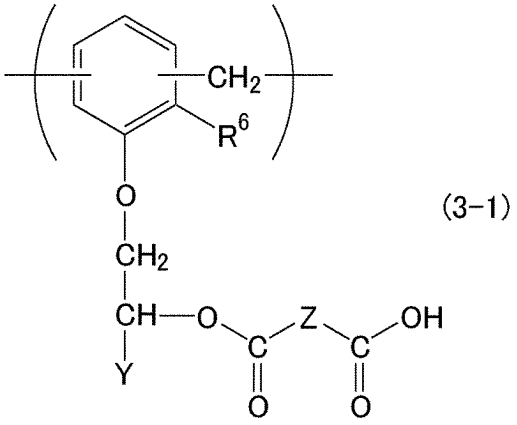
【化５】



(2-1)

（式中、R^4は、水素原子又は炭素数１～６のアルキル基を表す。Ｘは有機基を表す。）

【化６】



(3-1)

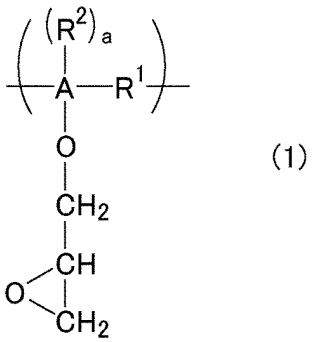
（式中、R^6は、水素原子又は炭素数１～６のアルキル基を表す。Ｙは有機基を表す。Ｚは２価の有機基を表す。）

【請求項３】

酸基と重合性不飽和二重結合を有し、エポキシ当量が５０００ｇ／当量以下であるアルカリ可溶性樹脂（Ａ）、重合性化合物（Ｂ）、及び、光重合開始剤（Ｃ）を含む感光性樹脂組成物であって、

該アルカリ可溶性樹脂（Ａ）は、下記式（１）で表される構成単位、下記式（２）で表される構成単位、及び、下記式（３）で表される構成単位を有するアルカリ可溶性樹脂である感光性樹脂組成物。

【化７】

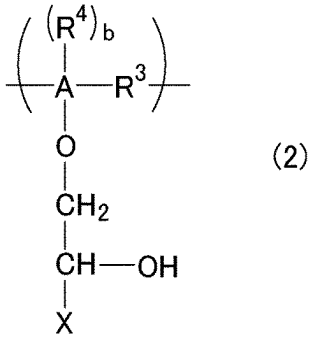


(1)

（式中、Ａは、ベンゼン環又はナフタレン環を表す。R^1は、炭素数１～２０の２価の炭

化水素基を表す。R^2は、Aに結合する置換基を表し、水酸基、又は、炭素数１～２０の有機基を表す。ａは、R^2の個数を表し、０～５の整数である。R^2が２個以上ある場合、それぞれ互いに同一であっても、異なっていてもよい。）

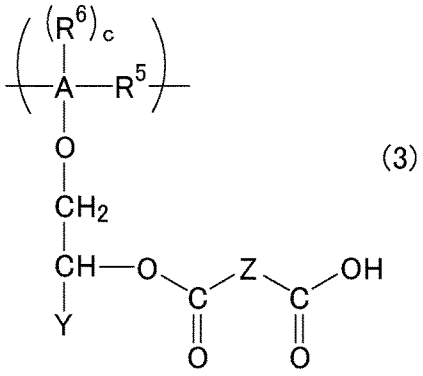
【化８】



(2)

（式中、Aは、ベンゼン環又はナフタレン環を表す。R^3は、炭素数１～２０の２価の炭化水素基を表す。R^4は、Aに結合する置換基を表し、水酸基、又は、炭素数１～２０の有機基を表す。ｂは、R^4の個数を表し、０～５の整数である。R^4が２個以上ある場合、それぞれ互いに同一であっても、異なっていてもよい。Xは、有機基を表す。）

【化９】



(3)

（式中、Aは、ベンゼン環又はナフタレン環を表す。R^5は、炭素数１～２０の２価の炭化水素基を表す。R^6は、Aに結合する置換基を表し、水酸基、又は、炭素数１～２０の有機基を表す。ｃは、R^6の個数を表し、０～５の整数である。R^6が２個以上ある場合、それぞれ互いに同一であっても、異なっていてもよい。Yは、有機基を表す。Zは、２価の有機基を表す。）

【請求項４】

前記式（２）中のXは、（メタ）アクリロイル基を有する有機基である請求項３に記載の感光性樹脂組成物。

【請求項５】

更に、酸解離定数ｐＫａが４．２以下の酸化合物を含むことを特徴とする請求項３又は４に記載の感光性樹脂組成物。

【請求項６】

更に、リン酸誘導体を含むことを特徴とする請求項３又は４に記載の感光性樹脂組成物。

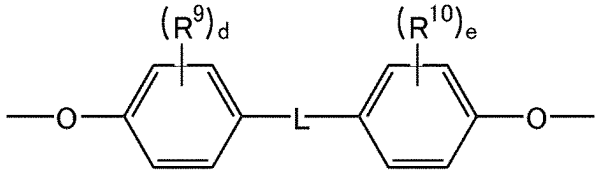
【請求項７】

更に、塩基性化合物を含むことを特徴とする請求項３又は４に記載の感光性樹脂組成物。

【請求項８】

前記アルカリ可溶性樹脂（Ａ）は、更に、下記式（４）で表される構成単位を有する請求項３又は４に記載の感光性樹脂組成物。

【化１０】



(4)

（式中、Ｌは、２価の連結基を表す。Ｒ^{9}及びＲ^{10}は、同一又は異なって、置換基を表す。ｄは、Ｒ^{9}の個数を表し、０～４の整数である。ｅは、Ｒ^{10}の個数を表し、０～４の整数である。Ｒ^{9}及びＲ^{10}が複数の場合、それぞれ互いに同一であってもよいし、異なっていてもよい。）

【請求項９】

更に、染料及び／又は顔料を含むことを特徴とする請求項３又は４に記載の感光性樹脂組成物。

【請求項１０】

請求項１又は２に記載のアルカリ可溶性樹脂、又は、請求項３又は４に記載の感光性樹脂組成物を硬化してなる硬化物。

【請求項１１】

請求項１０に記載の硬化物を有する表示装置用部材。

【請求項１２】

請求項１０に記載の硬化物を有する表示装置。